

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	16020-2
課題名	レム睡眠行動障害における行動エピソード発現直前のビデオ・ポリソムノグラフィ所見に関する研究
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2021年 12月 31日
研究の対象	2008年12月から2016年4月までの間に、当科に入院し、ビデオ・ポリソムノグラフィ検査によってレム睡眠行動障害と診断された方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：診療記録、ビデオ・ポリソムノグラフィ記録 等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	<p>レム睡眠行動障害は、レム睡眠中に異常行動が現れる特徴がある睡眠障害の1つです。この病気の患者さんは、異常行動によって自らやベッドパートナーが怪我をする場合があります。また、この病気の患者さんは、将来パーキンソン病などの病気を発症することが知られています。そのため、今後はレム睡眠行動障害を早期に診断し、治療することがますます重要となります。</p> <p>しかしながら、レム睡眠行動障害の異常行動がどのように出現するかについては、その原因は未だに明らかにされていません。レム睡眠行動障害を正確に診断し、治療するために、その病気の原因を明らかにするための研究が世界中で行われています。</p> <p>そこで、我々は、レム睡眠行動障害の異常行動が出現する原因を明らかにするために、当科でレム睡眠行動障害と診断された方のビデオ・ポリソムノグラフィ記録を用いて、異常行動と、異常行動が出現する直前の神経活動との関連性を調査する研究を計画しました。</p>
研究の方法	<p>本研究は、2008年12月から2016年3月までの間に、当科に入院し、ビデオ・ポリソムノグラフィ検査によって、レム睡眠行動障害と診断された患者さんを対象としています。本研究では、入院時に検査させていただいたビデオ・ポリソムノグラフィ記録、および、診療記録を解析します。なお、新たに必要な検査はございません。</p> <p>本研究の方法として、ビデオ・ポリソムノグラフィを解析し、ビデオによって捉えられた行動と、その行動が出現する直前の神経活動（睡眠中の眼球運動、および、筋電図）との関連性を検討させていただきます。本研究で得られたデータをもとに、レム睡眠行動障害の患者様の診断・治療に役立つ有効な指標を見出し、将来の医療の進歩に貢献したいと考えております。</p>
その他	本研究は通常の保険診療で行われるため資金を必要としません。本研究において企業からの提供はございません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範

圏内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所：北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学精神医学講座

研究責任者：旭川医科大学精神医学講座 吉澤門土

電話番号：0166-68-2473